

神の母、聖マリア

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

今日は、今年最初の日曜日です。それだけでなく、今日は新しい年の最初の日でもあります。一年の始まりであるこの日に、私たちは様々な決意や願い事をする事ができるのです。ですから、今日は、一年で一番良い日だと思います。私たちキリスト者は、今年も神様が私たちを助け、祝福し、守り、導いてくださることを願い、祈らなければなりません。今日、私たちにできることが二つあります。

一つは、今日まで一年を通して神様が私たちのためにしてくださったすべての良いことを数えて感謝することです。特に、私たちに命を与えてくださったことを感謝しましょう。命があれば、必ず希望があります。

もう一つは、これからの一年も、神様が私たちを守り、祝福してくくださることを、神様にお願いすることです。神様の祝福があれば、私たちの人生はより有意義で、より幸せなものになるはずです。

年の最初のこの日に、教会は神の母、聖マリアの祝日を祝います。それは、教会が聖母マリアを重要視していることを意味します。神の母、聖マリアの祝日を祝うにあたり、本日の祝祭日について少しお話ししたいと思います。

カトリック教会では、**1月1日に神の母、聖マリア**を祝います。この1年を聖マリアの御加護のもとにおいてください、と委託します。神の母をギリシア語ではテオトコスと言います。

これは神の産みの親を意味します。聖母マリアへの崇敬は、教会にとって本来的なものです。それゆえ聖マリアへの崇敬は教会と共に古く、教会と共に広くあります。

もう一つの重要な考えは、イエスはマリアから生まれたから神であるのではありません。マリアが神の母であると言われるのは、永遠の神の御子イエスが、マリアから生まれることによってマリアと同じ人間となられたからです。マリアは神である御子に人間性を与えた母親なのです。ですからマリアなくして神である、と同時に人である神人イエス・キリストは存在しません。これが、マリアを崇敬する最も基本的な理由です。もし、マリアが永遠に存在する神の御子キリストの母親であるならば、マリアはその存在の最初の瞬間から、すでに神の母として選ばれた者であったに違いありません。

マリアは、その存在の最初の瞬間から汚れを知らなかったのです。ルカ福音書1章26節以下のマリアへのお告げの場面を思い出しましょう。

すべての恵みはイエスから与えられるものです。もし、そうだとするならば、すべての恵みを与えてくださる主イエスの母親が持つ取りなす力は大きいのです。ヨハネ福音書2章1節以下のカナの婚礼におけるマリアの姿を思い出しましょう。

イエス・キリストは人びとを救った救い主です。そして、もし、そのキリストがマリアから生まれたとするならば、マリアは贖い主の母親とも言えます。

マタイ福音書 27章 56節の十字架の下にたたずむマリアは、まさにその母親の姿を象徴しています。

私個人にとっても、神の母、聖マリアは本当に大切な存在です。いつも、自分より家族を優先し、わがままを言ったことのない母親です。マリアは私たち一人一人のことを考え、最高の犠牲を払ってくださっています。そんな母を持つことができ、私はとても幸運です。

しかも、私にとっては、聖母マリアは教師でもあるのです。イエス・キリストを物質的に、精神的に、道徳的に、世話をし、育てたという意味で、彼女は教師なのです。神は、か弱い赤ん坊のイエスを聖母の世話に委ねられました（ルカ 2・40）。

今日、この新年の日に、私たちはマリア様から2つのことを学ぶことができると思います。

一つ目は、マリアのように人生を神からいただいたプレゼントとして受け入れることです。マリアは初めから常に神様に従いました。彼女は神の計画を理解することができませんでしたが、どのようなことかと考え、信仰と愛を持ってそれを受け入れました（ルカ 1・38）。彼女はいつも人生を美しいプレゼントとして受け入れ生きていました。私たちも日々の生活を神からいただいた大切なプレゼントとして生きていきましょう。

二つ目は、私たちの人生を神に集中させることです。時々、私たちは世俗的なことに気を取られ、信仰を失い、神を見失うことがあります。マリアは決して神から目を離さず、常に神に集中していました。どんな困難や挫折があっても、彼女はイエスに焦点を合わせ、イエスを中心に生きるという信仰を決して失いませんでした。私たちは、自分の人生を神に集中させ、神に焦点を合わせるようにしましょう（ルカ 2・50-52）。神がいつも私たちと共におられることを知っているならば、私たちの人生に恐れるものは何もないのです。

今日、一年の初めの日に、この一年私たちは家族や教会を愛する一年であることを祈りましょう。マリアのように神と他者のために人生を捧げることができるように祈りましょう。また、マリア様の模範に倣って私たちも、マリアがイエスにしたように、他の人の世話をし育てることができるように祈りましょう。日常生活の中で出会う人々にイエス様の姿を見出し、一人一人を大切にすることができますように祈りましょう。

Lazun naw san Vincent (pime)